

令和元年度の研究(または活動)内容

1.これまで連携してきた地域や団体との学生参画型の事業

まちづくりやコミュニティ形成のプロセスや効果など他地域で活かすための実践的活動や研究を行う。

1) 仙台市八木山地域(高齢化の進む丘陵地形の住宅地)を中心とした活動

「防災減災」をキーワードに集結した「仙台八木山防災連絡会」(2008年設立・2020年3月現在45団体)では、防災減災を呼びかけるために八木山オリジナルの「ぼうさいダンス」の紹介、小中学校にて防災授業を行いながら、小中学生の防災意識や防災教育に関する調査を行った。また防災連絡会の医療関連部会では、「医療介護の連携」をキーワードに組織した「八木山ネットワーク」の運営を行い、特に今年度は医療介護の現場での情報共有や伝達について現状と課題の調査を行った。

「福祉のまちづくり・地域包括ケア」をキーワードに実践的活動する「八木山まちづくりプロジェクト」では、昨年度から仙台市の助成を受けて開始した「八木山ハーブまちづくり」と共に、今年度は誰もが交流できる場・生きがいつくりの場として「八木山みんなのカフェ」を開始した。



せんだい防災のひろば 2019



小学校低学年対象の防災授業



医療介護の課題を考える八木山ネットワーク



八木山みんなのカフェ



ハーブまちづくりの協働栽培地整備



八木山ハーブまちづくり通信(活動報告書)

2) 仙台市秋保野尻地区(高齢化と人口減少の進む中山間地)を中心とする活動

主体的な住民組織「野尻いくする会」(2016年10月設立)の都市間交流事業を秋保総合支所と本研究所との協働で、身の丈に合う持続可能な活動となるよう実施し、課題について調査を行った。



天神淵川遊び体験



秋保野尻新そばまつりの運営支援



野尻いくする会の定例会議

3) 石巻市雄勝町(現在復興工事中、人口減少も著しい東日本大震災の被災地)を中心とする活動

雄勝硯生産販売協同組合らとの「いしのわプロジェクト」で外部資金を獲得し、「ヒト・モノ・コト・場」づくりに向けた支援を学生参画型で行ってきた。2020 年開所予定の「雄勝硯伝統産業会館」の運営や活用法などに向けた組合から本研究所へ協力要請もあり、現在も継続して行っている。



石巻市雄勝町うにまつり運営支援



八木山ハーブまちづくりメンバーによる
雄勝町の見学と交流



雄勝硯伝統産業会館の開所準備

2.これまでの実践的な活動や研究を活かした他地域や他団体との事業

各地域の特性にあった、地域資源を活かした、自律的で持続的な地域を創生するために、地域住民や行政等、地域内外の有識者や学生等も交えたワークショップや講習会等を企画開催する。

1) 岩手県和賀郡西和賀町での地域づくり推進事業への参画

2019 年より西和賀町北部活性化推進委員会から依頼「岩手県西和賀町北部地区住民と町の協働による地域づくり推進事業」を実施する。その際、これまで取り組んできた本学工業意匠学科秋岡芳夫チーム(第三生産技術研究室)から継続する地域デザインの実践的研究、八木山地域や秋保野尻地区のまちづくりの事例などを紹介し、自律した持続可能な地域づくりに向けた報告を行った。



有形無形の地域資源調査



今後の地域づくりに向けたワークショップ開催

調査項目	調査結果	提案
1. 地域資源
2. 課題
3. 施策
4. その他

今年度調査結果と次年度に向けた提案

2) 障害のある方との共創デザイン

障害のある方との共創デザインを考えてもらうための紹介や交流の場づくりなどを行った。具体的には、長町地域交流フェス(株式会社ソクイ)、本学一番町ロビーでの展示会(就労継続支援 B 型事業所 希望の星)、認定こども園のあかねフェス(向山認定こども園)などである。



盲導犬とのふれあいから障害の理解へ



点字の解説や障害のある方の商品紹介



車いすダンス体験と紹介の場づくり

3) その他:地域や企業からの問い合わせに応じた相談対応や活動、調査など

- ・「東北ケア環境研究会」の始動(株式会社ケアコム)
- ・子ども食堂の環境整備(NPO 法人おりざの家)
- ・地域と連携した防災活動や防災教育(仙台市八本松児童館)
- ・「仙台市郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト」
(仙台市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト推進課)
- ・地域コミュニティづくりやまちづくり(たいはく区民の会)

※ 2020年3月7日(土)に

「『地域のくらし共創デザイン研究所』キックオフ会 共に新たな価値を創り自律したくらしを!」のキックオフ会を企画するも新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止とする。